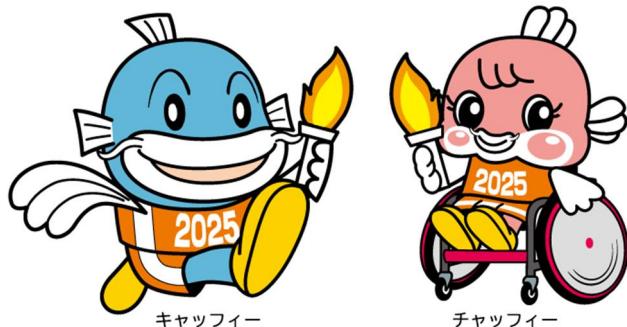


第 24 回総務企画専門委員会

会議資料



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポマスコットキャラクター

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会



**わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
第24回総務企画専門委員会 次第**

日時：令和7年7月14日(月)11:00～

場所：滋賀県大津合同庁舎7階 7A会議室

1 開会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポに向けた開催準備状況等について【資料1】
- (2) 開催基本構想の進捗状況について 【資料2】

4 審議事項

- (1) わたSHIGA輝く国スポ・障スポに係る総監督会議等の開催(案) 【資料3】

5 閉会

総務企画専門委員会 委員

(順不同:敬称略)

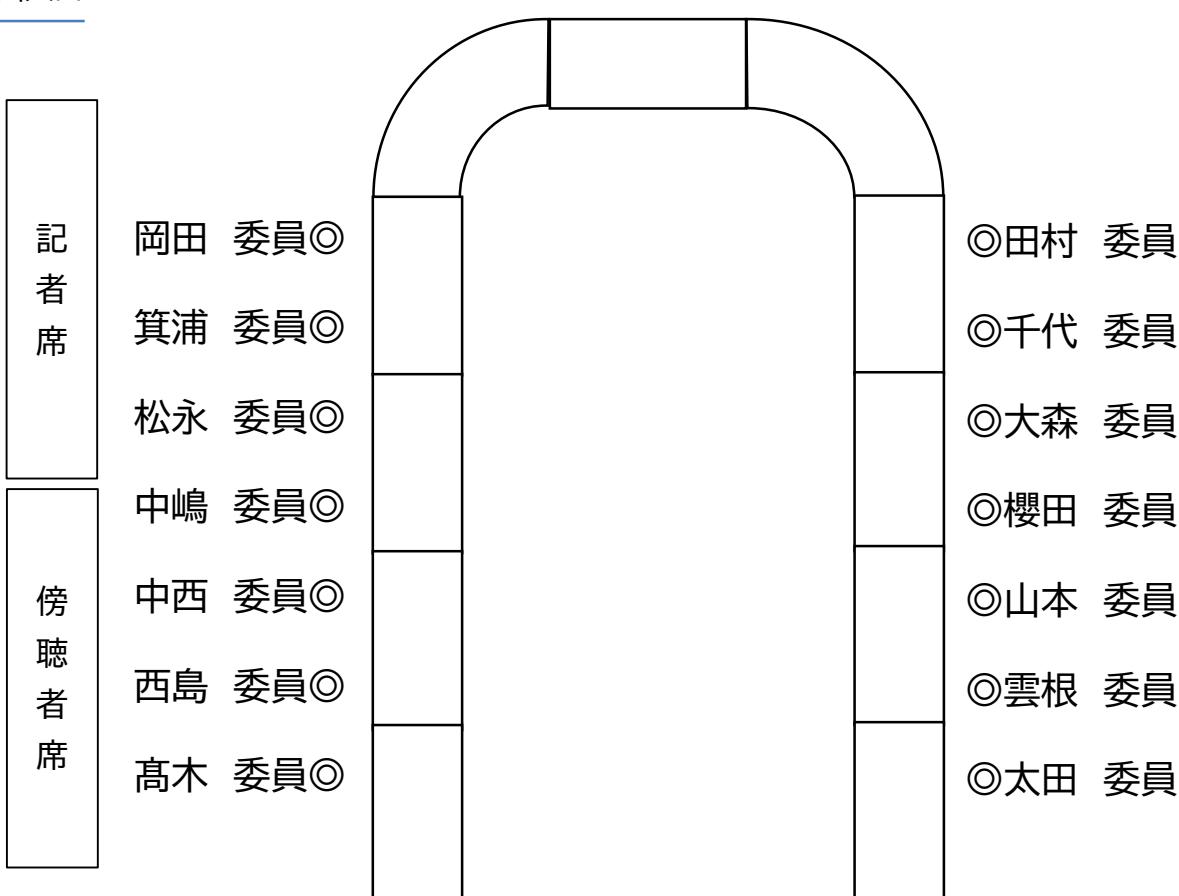
選 出 区 分	機関・団体名および役職名	委員
市 町 関 係	滋賀県市長会 事務局長	田村 秀徳
	滋賀県町村会 事務局長	千代 良明
ス ポ ーツ 関 係	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 常務理事	門 久仁裕
	滋賀県高等学校体育連盟 副会長	大森 文子
	滋賀県中学校体育連盟 副会長	櫻田 信之
	滋賀県スポーツ推進委員協議会 会長	山本 博一
	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 副会長	太田 千恵子
医 療 ・ 福 祉 関 係	滋賀県健康推進員団体連絡協議会 副会長	雲根 ひとみ
産 業 ・ 経 済 関 係	滋賀県商工会議所連合会 専務理事	岡田 英基
	滋賀県商工会連合会 専務理事	箕浦 宏昌
学 識 経 験 者	龍谷大学 経営学部 教授	松永 敬子
県 関 係	総合企画部企画調整課 課長	中嶋 洋一
	総務部市町振興課 課長	中西 功
	文化スポーツ部スポーツ課 課長	西島 義典
	商工観光労働部観光振興局 副局長	高木 和彦

第24回総務企画専門委員会 座席配置

令和7年7月14日(月)
大津合同庁舎7階 7-A会議室

出入口

◎門 委員長



出入口

事務局

事務局

事務局

事務局

わたSHIGA輝く国スポ・障スポに向けた 開催準備状況等について

1. 両大会概要
2. みんなが輝く大会に
3. 開催準備の状況
 - (1) 競技会準備
 - (2) 開・閉会式準備
 - (3) 大会広報・機運醸成
 - (4) 県民参加・おもてなし



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

I. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 概要

大会名(愛称)	第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国spo)
開催期間	(会期前)①令和7年(2025年)9月6日(土)～9月15日(月) ②令和7年(2025年)9月21日(日)～9月25日(木)
	(本会期) 令和7年(2025年)9月28日(日)～10月8日(水)
実施予定競技	○正式競技[本大会37競技] ○特別競技[1競技] ○公開競技[7競技] ○デモンストレーションスポーツ[26競技]
来場者数見込 (開会式)	約16,000人 (選手・監督等:約2,500人、大会関係者約6,000人、観覧者等:約7,500人)

大会名(愛称)	第24回全国障害者スポーツ大会(わたSHIGA輝く障spo)
開催期間	令和7年(2025年)10月25日(土)～10月27日(月)
実施予定競技	○正式競技[14競技(個人7、団体7)] ○オープン競技[4競技]
来場者数見込 (開会式)	約15,000人 (選手・監督等:約3,000人、大会関係者約6,000人、観覧者等:約6,000人)

2. みんなが輝く大会に

◆環境に配慮し実践する大会

国スポ・障スポMLGs宣言に基づく取組

- 再生繊維100%のスタッフウェア
- 大会メダルをリサイクル金属で製作
- マイボトル持参の呼びかけ



大会メダル



各会場に給水機を設置

◆おもてなしで滋賀の魅力発信

- 地域の特色あふれるおもてなし広場の設置
- 滋賀・びわ湖の食材の魅力を活かした「食」の提供
- ホスピタリティあふれるスタッフの養成



大会を支えるボランティア



滋賀の特産品や郷土料理をPR

◆スポーツの力でつくる共生社会

- 競技会場等のバリアフリー対策(障スポ)

大会初 障スポ全会場にカームダウンスペースを設置



- 誰もが大会を楽しめる環境づくり

- 心のバリアフリーを推進



手話でコミュニケーション



会場周辺バリアフリー調査

◆子ども、若者、女性が活躍

- 次世代の選手育成システムの確立
- 子どもたちによる応援のぼり旗づくりや花育て
- 競技補助員・選手団サポーターとして若者が参画
- 女性アスリート・指導者の活躍サポート



未来につながる
滋賀レイキッズ



花いっぱい運動

3. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 開催準備の状況

(1) 大会運営・競技会準備

1. 国スポ・障スポ実施本部の設置 (R 7. 4. 1)

- ・県庁職員のべ約1万人が業務従事



実施本部発足式

2. 各競技会場等における本番に向けた対応

- ・正式・特別競技の運営準備、おもてなし等の準備
- ・デモスポ・炬火イベントの実施
- ・各市町に対する、競技会運営・施設整備への支援



デモンストレーションスポーツ

3. 競技別リハーサル大会の開催

(1)国スポ R 6年度:34競技実施 R 7年度:5競技実施（予定含む）

- ・市町や競技団体と課題を共有し対応を検討

(2)障スポ 全14競技 R 7年5月24, 25日

- ・悪天候時の対応、円滑な選手動線の確保、的確な情報伝達等、リハーサルで判明した課題に対し必要な対策を検討

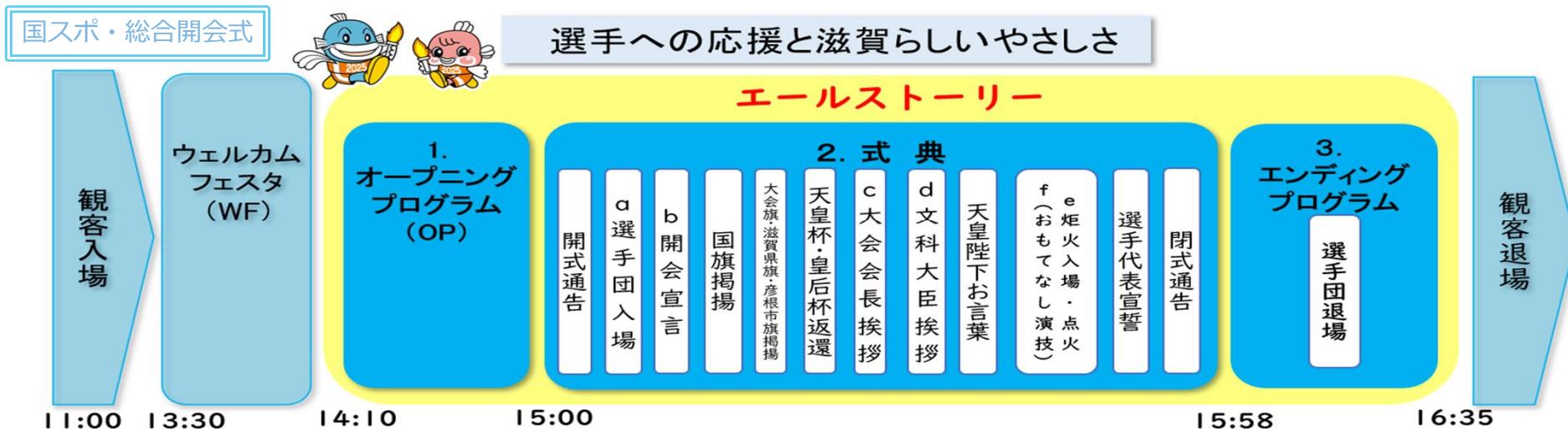


リハーサル大会

3. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 開催準備の状況

(2) 開・閉会式準備

1. 選手にやさしい開・閉会式



- ・選手の負担軽減（コンパクトな開催時間、着席スタイル、閉会式での事前入場）
- ・選手へのエール、滋賀を発信する演出(公募団体等によるダンスやパフォーマンス)
- ・びわ湖ホール声楽アンサンブルや高校生を中心とした式典音楽隊
- ・障害者および介助者の入場料金無料（国スポ・総合開会式）
- ・ブルーインパルス展示飛行（国スポ・総合閉会式）

※時間については
変更の可能性あり

2. 式典衣装等

- ・式典音楽隊の衣装
地場産品（綿・麻・絹）の素材使用、県立大学学生グループデザイン
- ・プラカーダー帽子
琵琶湖のヨシ纖維使用



3. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 開催準備の状況

(3) 大会広報・機運醸成

1. 情報発信

- ・テレビ、ラジオ、インターネットCM、SNS
- ・広報誌「シャイン!!」、子ども向け広報誌の発行
- ・大会競技映像の配信準備(国スポ・障スポチャンネル)

2. シティドレッシング

- ・JR駅等の装飾、商業施設サイネージ、高速SAの装飾、看板設置等

3. 企業・団体等による啓発協力(250社以上)

- ・ポスター等の掲示、社用車への大会PRマグネット貼付
- ・広告スペースの提供



大会PR動画



R7元旦新聞広告



JR大津駅の装飾



(4) 県民参加・おもてなし

1. 県民等の参画が「支える」大会

- ・運営ボランティア等 のべ約1万人 運営:11,050人／定員10,900人、手話・要約筆記:846人／定員600人
- ・選手団サポーターとして大学生等が障スポ選手団支援 1,500人が参画予定(協力校24校)

2. おもてなしの準備

- ・クリーンアップ運動 開催100日前おもてなし清掃活動
- ・花いっぱい運動
- ・おもてなし広場の設営
- ・彦根駅前にぎわい創出



花育て（幼稚園、自治会等）



応援手作りのぼり旗の作成



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況

資料2
(報告事項2)

1 開催基本構想とは

両大会の開催準備および大会運営の取組や両大会終了後のレガシー創出の方向性を取りまとめた「開催基本構想」を令和元年5月に策定したもの。両大会の一年延期に伴い、開催年にかかる記載などについて、令和3年3月に一部改正した。

【基本方針】

- ・ 次代を担う人育て
- ・ 活力に満ちた真心通い合う郷土づくり
- ・ 全国から滋賀を訪れる多くの人の交流
- ・ 県民総参加により、夢や感動、連帯感を共有
- ・ 県民がより一層身边にスポーツを楽しむことのできる環境づくり
- ・ 健康・体力の保持増進と競技力の向上
- ・ 障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加
- ・ ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

開催基本構想



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和元年（2019年）5月 策定

令和3年（2021年）3月 一部改正

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

【実施目標】

- 1 滋賀をスポーツで元氣にする大会
- 2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会
- 3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会
- 4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会
- 5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会
- 6 滋賀の未来に負担を残さない大会
- 7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

【取組】

- 7つの実施目標の実現に向けた取組
- ・ 開催準備の取組
 - ・ 大会運営の取組

【レガシー】

全国から多くの人々が集う『スポーツの祭典』を通じて滋賀の新たな時代の創造につながる『レガシー』を創出し、次世代へ継承

2 開催基本構想の進行管理について

毎年度、開催基本構想の進行状況等について、把握し、検証する。

進捗状況の把握結果は、大会専用ホームページで公表し、進捗状況や課題等を広く情報共有するとともに、今後の開催準備や大会運営の検討に活用するものとする。



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



3 開催基本構想の進捗状況(概要)

令和6年度における主な取組の進捗状況は以下のとおり。

実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会

- メインスタジアムとなる平和堂HATOスタジアムなど競技会場となるスポーツ施設の整備を推進し、スポーツ活動や健康づくり活動を行う環境づくりを進めている。
- 大会広報紙を発行するとともに、県内プロスポーツ公式戦の冠ゲームなど連携企画を実施し、スポーツへの関心を高める取組を実施した。
- 両大会の運営補助を行う運営ボランティアの募集に際して、びわ湖マラソンとのボランティア共同募集を実施するなどボランティアに対する関心を高める取組を実施した。
- 開催1年前イベントなどの啓発イベントを開催し、大会のPR活動と併せてスポーツ体験ができる機会を設けた。
- デモspoの紹介リーフレットを作成し、県民の参加を広く呼びかけた。

実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

- 両大会イメージソング「シャイン！！」を活用した「国スポ・障スポ教室」を小・中学校で実施した。
- 子ども・若者世代の関心を高めるため、開催1年前イベント等において、スポーツ体験を実施したほか、ファミリー世代が参加するイベントで広報啓発活動を行った。
- 小学校上学年向け広報誌「こども版シャイン！！」を新たに発行した。
- SNSでは、マスコットキャラクターを積極的に活用し、ファミリー層に届くような情報発信に努めた。
- 女性アスリート特有の課題（月経課題等）を抱える選手7名に対し、受診等に要する費用の補助を行うなど、選手・指導者の活躍を支援した。 -

【開催1年前イベント】



【こども版シャイン！！創刊】



【国スポ・障スポ教室（草津小学校）】





わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



3 開催基本構想の進捗状況(概要)

実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

- マスコットキャラクター、愛称・スローガンやイメージソングを積極的に活用し、テレビ・ラジオCMを利用した啓発、大会広報誌の発行、公式ポスターの制作等、機運醸成、認知度向上に努めた。
- 企業・団体等に寄付・協賛、広報啓発に協力いただき機運醸成につなげた。
- 広報誌への募金協賛記事掲載やイベントでの募金グッズ販売等、寄附協賛の推進を図るとともに、企業協賛物品のお披露目を行った。
- ボランティア参加者記念品を発表するなどボランティアの確保に努めるとともに、研修会を実施しボランティアの養成にも取り組んだ。
- 花育てリレーの試行栽培、リハーサル大会での飾花などを通じて、花いっぱい運動を推進した。

【R7元旦新聞広告】

西川貴教氏
わたSHIGA輝く国スポ・障スポPR大使

本日就任



【JR大津駅での装飾】



実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

- 県内学校に制作協力を依頼し、応援手作りのぼり旗を作成した。
- 民間企業の協力のもと運営ボランティアの「おもてなし研修」を行った。
- 139事業を文化プログラムとして登録し、令和7年1月より県内各地で開催するとともに、大会ホームページやSNS等を活用した情報発信を行っている。
- 県内発の伝統工芸である彦根仏壇の技術力や木地師による技術力を生かした炬火トーチの制作した。また、信楽焼を用いて、各市町の子どもたちの参画による「炬火受皿づくり」を実施することで、地場産業に触れる機会を提供した。
- 大会参加への記念品として、信楽焼の陶器マグネットを作成し、大会で配布することとした。また、大会では「わたSHIGA輝く賞」として県内特産品を授与し、選手を称える予定。
- SNSキャンペーンでは、両大会の広報に併せて滋賀の特産品等を景品にするなど、滋賀の魅力を発信した。
- 大会マスコットキャラクターを使用したポロシャツ、タオル、ピンバッジ、ぬいぐるみが販売された。

【リハーサル大会での飾花】



【応援手作りのぼり旗の作成】





わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



3 開催基本構想の進捗状況(概要)

実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

- 第78回佐賀国スポでは、県内高校等で競技力向上に取り組んだ少年選手や滋賀出身のふるさと選手などの活躍により、前年の大会を大きく上回る成績を収めることができ、前回のびわこ国体以降、最上位となる天皇杯順位8位という成績を収めることができた。
- 開催1年前イベントをはじめ、イベント等でスポーツ体験を実施し、スポーツ実践の機会を設けた。

実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会

- 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言」に基づき、再生素材を利用したスタッフウェアの作成やマイボトル持参の呼びかけなど、環境配慮の取組の実践・検討を進めた。
- クリーンアップ運動について、清掃活動に参加するとともにオリジナル軍手を市町に提供し運動を推進した。
- 選手や式典参加者等の負担軽減などこれまでにない新しい視点で、コンパクトでありながらも中身の充実した式典の実施・運営に向けた式典実施要項を策定した。

実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

- 運営ボランティア研修において、障害者サポートの研修を行った。
- 障スポ各競技の参加選手枠を充足する選手を確保するとともに、選手の育成・強化のため、新規スタッフの確保や関係団体への支援を強化した。
- 障害者およびその介助者の式典観覧にかかる入場料金を初めて無料にした。
- 選手に授与する大会メダルのデザインに、障害者芸術において先駆的な取組をされている事業所に所属する作家の作品を取り入れたデザインを選定した。

【佐賀国スポでの活躍】



【イベントでのスポーツ体験】



【マイボトル持参の呼びかけ】

【ボランティア募集ポスター】



【選手の活躍支援】





わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



4 レガシーの創出に向けて

開催基本構想において、7つの実施目標それぞれに、次世代に引き継ぎ、定着を目指すレガシーの創出について、方向性をまとめている。

実施目標	レガシー
① 滋賀をスポーツで元氣にする大会	① 生涯にわたり健康でスポーツに取り組む滋賀の人々
② 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会	② スポーツで輝く滋賀の子ども・若者・女性
③ 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会	③ 連携・協働で伸ばされた「滋賀の力」
④ 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会	④ 魅力と活力にあふれる滋賀
⑤ 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会	⑤ 全国や世界の舞台で活躍する滋賀のアスリート
⑥ 滋賀の未来に負担を残さない大会	⑥ 持続可能な滋賀への貢献
⑦ すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会	⑦ 人がともに支え合う滋賀

レガシー2025創出推進本部の立ち上げ

上記の実現に向けて、部局を横断した施策の立案・調整を目的とした「レガシー2025創出推進本部」を令和6年4月に立ち上げ、令和6年度は計4回の会議を開催し、令和7年度の具体的施策の検討などを行った。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポは、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝く大会を目指している。両大会には多数の方々が県内外問わず参加され、滋賀県の魅力を全国に発信する大きなチャンスである。また、同じく2025年に開催されている大阪・関西万博のテーマとして、「いのち輝く未来社会のデザイン」があり、「輝く」という言葉を共通項にして検討を進め、全庁的に各部局での令和7年度の施策構築が図られた。

2025年を滋賀県にとって“輝く”豊かな未来をともにつくるためのレガシー実現に向けた節目の年に

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポに係る総監督会議等の開催

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開催前に、大会の円滑な運営を図るために下記の会議を行うため、内容のご審議をお願いしたい。

1. わた SHIGA 輝く国スポ 総監督会議

(1) 内容

各都道府県選手団の監督等に国スポ総合開会式・国スポ総合閉会式参加にあたっての留意事項に関する説明を行う。

(2) 開催概要

① 日時:令和7年9月27日(土)16:00~17:00

② 場所:滋賀県大津合同庁舎 会議室

③ 出席対象者:(説明者)日本スポーツ協会、滋賀県
(各都道府県)選手団監督 等

※各都道府県は WEB 参加

④ 今後のスケジュール:令和7年度第2回国民スポーツ大会委員会
(令和7年8月20日開催)にて報告

2. わた SHIGA 輝く国スポ 主催者連絡会議

(1) 内容

主催者(日本スポーツ協会、文部科学省、滋賀県)が、主に国スポ総合開会式・国スポ総合閉会式の実施態度に関する協議を行う。

(2) 開催概要

① 開催方法:対面もしくは電話、WEB 開催

② 日時:令和7年9月27日(土)17:00~

③ 場所:滋賀県大津合同庁舎 会議室

④ 出席対象者:日本スポーツ協会、スポーツ庁、滋賀県

⑤ 今後のスケジュール:令和7年度第2回国民スポーツ大会委員会
(令和7年8月20日開催)にて報告

3. わた SHIGA 輝く障スポ 全国代表者会議

(1) 内容

各選手団の代表に主に開会式・閉会式参加にあたっての留意事項や競技会に関する説明を行う。

(2) 開催概要

① 日時:令和7年10月16日(木)15:00~16:00

- ② 場所:滋賀県大津合同庁舎 会議室
- ③ 出席対象者:(説明者)日本パラスポーツ協会、スポーツ庁、滋賀県
(各都道府県および政令指定都市)選手団代表
※日本パラスポーツ協会、スポーツ庁、
各都道府県および政令指定都市は WEB 参加
- ④ 今後のスケジュール:日本パラスポーツ協会へ報告